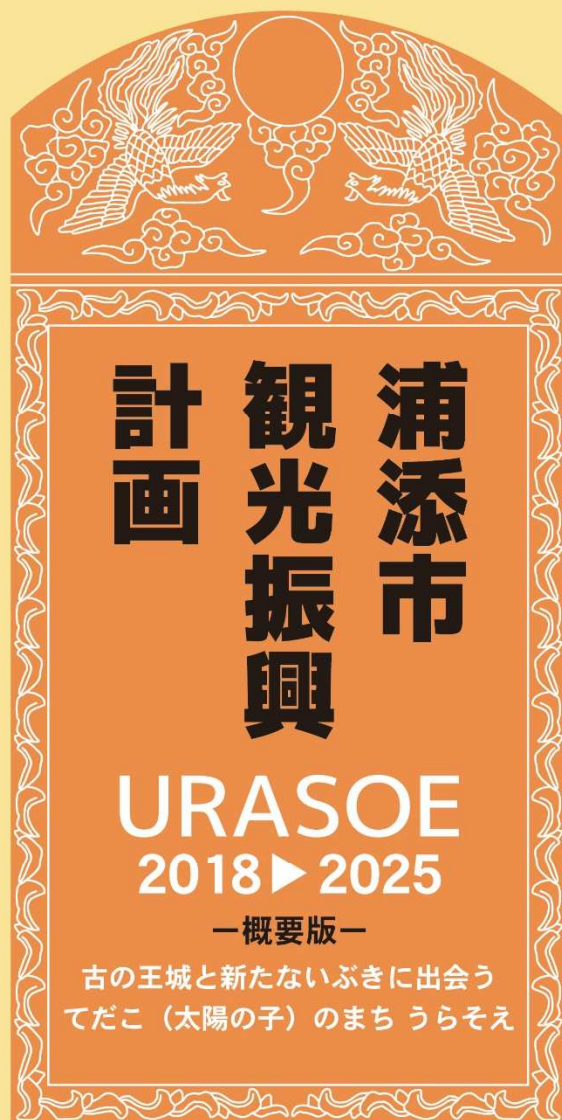




2018 年 3 月

浦添市



1. 観光振興の意義

■地域への経済効果

観光産業は裾野が広く、経済波及効果が高い産業といわれています。交流人口の増加により、交通機関の利用、飲食や宿泊、地場製品の購入等その消費活動は多岐に渡ります。これにより、地域経済の活性化や雇用需要の拡大など、市民生活の安定と向上につながることを期待されます。

■地域の誇り、アイデンティティの醸成効果

観光客を受け入れる地域にとっては、さまざまな人がその地域の資源を認め、訪れ、称えてくれることにより、自らの地域の価値を再認識し、それが自信となり、地域の誇りやアイデンティティが醸成されます。

■“住んでよし 訪れてよし”の観光地域づくりの実現

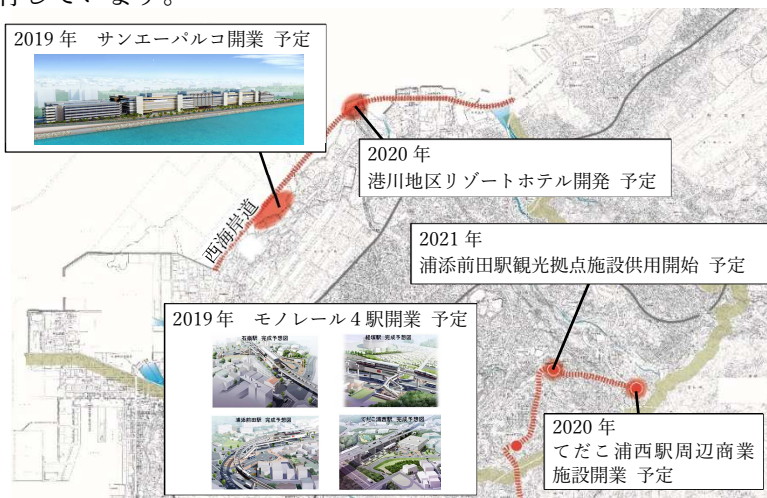
「地域の誇り、アイデンティティの醸成」や観光客との観光交流（交流人口増加、滞在時間増加、消費金額増加など）から生じる、「地域への経済効果」といった様々な効果を生かして、地域の「あるべき姿」を実現していく取組こそ、“観光地域づくり”の考え方です。

2. 計画策定の経緯・目的

浦添市は国道により市域が東西に分かれ、西海岸部分は牧港補給地区があり、観光客が滞在するような宿泊施設等もないことから観光による経済効果を楽しむににくい状況になっています。

しかし、本市には手付かずのイノーや国指定史跡浦添城跡のほか、桑関連の市産品などといった多くの知られざる「観光コンテンツ」を有しています。

これらの観光コンテンツを十分に活かすため、いまだ未整備である市の観光振興の指針となる「浦添市観光振興計画」を策定・事業化し、今後展開が予定されている西海岸開発やモノレール延長との相乗効果により、経済効果を十分に享受することを目的とします。



《2018年度からの本市に係る主な出来事》

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
各種計画	第四次浦添市総合計画・基本構想 後期基本計画（H28～）			（仮）第五次浦添市総合計画・基本構想 前期基本計画				
	浦添市まち・ひと・しごと 創生総合戦略（H28～）							
	浦添市産業振興ビジョン							
	浦添市観光振興計画（計画期間：2018～2025年度の8年間）							
	前期計画（3年）			後期計画（5年）				

3. 浦添市観光振興計画の目指す姿

(1) 基本理念

浦添市観光振興のキャッチフレーズ

いにしえ おうじょう

古の王城と新たないぶきに会う てだこ（太陽の子）のまち うらそえ

浦添市は、古琉球時代の中山の王城と考えられている浦添グスクをはじめとした様々な歴史を有しているとともに、新たに整備される施設やコンテンツ等がこれから育まれていきます。

本計画は、これら市内の古いモノ・コトを土台にしながら、新たなモノ・コトとの融合を図り、新たな魅力に出会うことができる、“てだこのまち”の形成を目指していきます。

(2) 観光振興による目指す将来像

1

市内の各所で、地域の活動やイベント・観光プログラムが実施され、
来訪者との交流で賑わいを生む。～受け皿をつくる～

【目標数値】

指標	実績値	2020 年	2025 年
イベント等の参加者数	31 万人	54 万人	61 万人

2

効果的な地域情報の発信により、浦添での楽しみ方、過ごし方を、
地元の方も来訪者も良く知っている。～知ってもらう～

【目標数値】

指標	実績値	2020 年	2025 年
ウェブサイト閲覧数	52 万件	91 万件	104 万件

3

市内へ観光来訪者が増え、特に宿泊を伴い、
長時間滞在して浦添を楽しむ方が増える。～滞在してもらう～

【目標数値】

指標	実績値	2020 年	2025 年
入域観光客数	40 万人	71 万人	80 万人
宿泊者数	—	7 万 5 千人	16 万人

4

市内でのイベントや観光プログラムへの参加、宿泊・滞在、飲食や買い物などの増加、
さらに市内産業への波及により地域経済が活性化する。～経済効果を上げる～

【目標数値】

指標	実績値	2020 年	2025 年
観光消費額	23 億円	—	137 億円

5

観光まちづくりの推進が、浦添で生活する方々の住みやすさ・働きやすさにつながり、
市民が持つ浦添市への誇りを高める。～市民の満足度を高める～

【目標数値】

指標	実績値	2020 年	2025 年
市民満足度	—	—	3.5

4. 施策体系

観光振興の 基本理念

《第四次浦添市総合計画》 都市像 てだこの都市・浦添
まちづくりの目標 太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市

浦添市観光振興による目指す将来像

- 1 市内の各所で、地域の活動やイベント・観光プログラムが実施され、来訪者との交流で賑わいを生む。 ～受け皿をつくる～

指標	実績値	目標値
イベント等の参加者数	31 万人	(2020 年) 54 万人 (2025 年) 61 万人

- 2 効果的な地域情報の発信により、浦添での楽しみ方、過ごし方を、地元の方も来訪者も良く知っている。 ～知ってもらう～

指標	実績値	目標値
ウェブサイト閲覧数	52 万件	(2020 年) 91 万件 (2025 年) 104 万件

- 3 市内へ観光来訪者が増え、特に宿泊を伴い、長時間滞在して浦添を楽しむ方が増える。 ～滞在してもらう～

指標	実績値	目標値
入域観光客数	40 万人	(2020 年) 71 万人 (2025 年) 80 万人
宿泊者数	—	(2025 年) 16 万人

- 4 市内でのイベントや観光プログラムへの参加、宿泊・滞在、飲食や買い物などの増加、さらに市内産業への波及により地域経済が活性化。 ～経済効果を上げる～

指標	実績値	目標値
観光消費額	23 億円	(2025 年) 137 億円

- 5 観光まちづくりの推進が、浦添で生活する方々の住みやすさ・働きやすさにつながり、市民が持つ浦添市への誇りを高める。 ～市民の満足度を高める～

指標	実績値	目標値
市民満足度	—	(2025 年) 3.5

※5段階評定法による

観光振興の基本方針

(1) 地域資源である生活・文化・芸能・自然・施設・環境・人を活かす浦添での過ごし方の提案

(2) 浦添の情報発信の強化

(3) 受け入れ環境として、滞在拠点・交通の充実

(4) 浦添観光を支える体制の充実

(5) マーケティング・経済波及効果の検証体制の充実

戦略的重点施策

1) 地域の歴史・文化・芸能の保存・活用

2) 施設を核とした賑わいの創出

3) 来訪者及び市民にも訴求する浦添市の情報発信の強化

4) 受け入れ施設の整備・充実

5) 官民による観光まちづくり推進体制の構築

6) マーケティング情報のフィードバックの仕組みづくり

エリア別の方向性 浦添城跡周辺エリア・カミージー周辺エリア 港川ステイツサイドタウン・屋富祖商店街周辺エリア

浦添市観光振興のキャッチフレーズ

いにしえ おうじょう

古の王城と新たないぶきに出会う てだこ（太陽の子）のまち うらそえ

施策・プロジェクト

①地域の歴史・文化・芸能の保存・活用

- i) 周遊ルート構築、組踊での誘客、文化資源と連動するコンテンツづくり
- ii) 浦添城跡・浦添市美術館の歴史・文化資源としての活用
- iii) 文化財の保存・活用
- iv) 地域活動の観光コンテンツ化
- v) 国立劇場おきなわとの連携強化（組踊での認知度及び誘客等を高める取組）

②自然環境の保全・活用

- i) 里浜のガイドライン作り
- ii) 自然環境を活用した誘客

③魅力的な商品（モノ・コト）の活用・造成

- i) テーマ性を活かした浦添ならではの滞在コンテンツの造成
- ii) 店舗の魅力化
- iii) クルーズ船からの誘客に向けたコンテンツ造成の取組
- iv) 雨天時の滞在プログラム構築
- v) 市産品の開発および PR（桑製品・うらそえ織等）
- vi) イベントの充実（大規模イベントの集客・安全確保、地域イベント・スイーツ・祭事での観光客受け入れ、他地域イベントとの連携）
- vii) 修学旅行受入への取組（体験型プログラム構築・安全管理推進）

④スポーツツーリズム・M I C E等の推進

- i) スポーツツーリズムの充実（ヤクルトキャンプ見学客の浦添滞在促進、各種スポーツ合宿受け入れ、てだこワークを活用した誘客推進、ハンドボール王国のPR推進）
- ii) 魅力ある新たなスポーツイベントの創出
- iii) 浦添市てだこホール等の活用
- iv) M I C E 誘致への取組
- v) スポーツ環境の整備・充実

⑤施設を核とした賑わいの創出

- i) 観光交流拠点施設（にぎわい交流ゾーン）を核とした周辺施設との賑わいの創出
- ii) 港川ステイツサイドタウンの賑わいの創出

⑥個店（中小企業等）の人材の発掘・活用

- i) 「まちゼミ」等の取組の推進

①情報発信方法の確立

- i) 情報発信手法の構築（ウェブ・紙媒体等）
- ii) うらそえナビの充実・発信力強化
- iii) 多言語による情報発信手法構築
- iv) 浦添市ふるさとてだこの都市応援寄附金返礼品を活用した浦添市の魅力発信

①受け入れ施設の整備・充実

- i) 宿泊施設の充実
- ii) 観光・交流拠点の充実（西海岸地区、市内モノレール駅、カーミージー地区海浜公園拠点施設など）
- iii) 既存施設の効果的かつ柔軟な利活用（浦添大公園、浦添城跡）
- iv) クルーズ船バースの整備に向けた事業主体との連携

②交通・情報インフラの充実

- i) 2次交通の充実（市民・観光客が利用できるコミュニティバス、レンタルサイクル等）
- ii) 西海岸や市内モノレール駅等とあわせた市内交通体系の整理・整備
- iii) 公衆無線LAN整備
- iv) 案内サインの充実
- v) 駐車場の整備・確保に向けた取組

③観光地域としての空間形成

- i) まちなみ・景観保全（景観地区検討、自然緑地保全、商店街、季節や時間帯に応じたまちなみ・景観・眺望スポット活用）
- ii) シンボルロード等の街づくりとの連携

①観光人材の育成

- i) 観光推進の担い手発掘・育成
- ii) 観光ガイド育成・技術向上（訪日外国人対応含む）
- iii) 市民の誇りづくり
- iv) 子どもたちの郷土愛の醸成（人材育成）

②観光まちづくり推進体制の構築

- i) 浦添市観光協会の組織強化及び法人化
- ii) かじ取り役となる官民連携の体制構築
- iii) 市内事業者間の連携強化
- iv) 訪日外国人受け入れ体制の構築
- v) 行政内の体制の連携強化
- vi) 観光客向けの防災・防犯

③広域連携の推進

- i) 他市町村との連携体制の構築

①マーケティング戦略の構築

- i) 継続的なマーケティング調査の実施分析

②観光振興による経済波及効果の検証

- i) 経済波及効果を生み出す他業種連携推進
- ii) 経済波及効果を求めるためのデータ収集

5. 戦略的重点施策

観光振興の基本方針に基づき、他施策・プロジェクトへの影響が高いと考える内容、浦添市の観光振興に係る課題に即した内容として重要度が高いと考えるものを、戦略的重点施策として以下のとおり位置付けます。

重点施策① 地域の歴史・文化・芸能の保存・活用

浦添市は、浦添城跡をはじめとする歴史的資源や、国立劇場おきなわ、浦添市てだこホール、浦添市美術館などの文化施設を有します。また、組踊や前田棒、各地域の獅子舞、綱引きなど芸能文化資源、活発な地域活動など、観光客にとってまだ知られざる資源が数多くあります。

これらを来訪者受け入れのコンテンツとして磨き上げ、各資源の連携により滞在型のプログラムとして構築することで、地域での保全活動の充実と、来訪者に対して過ごし方を提案し・滞在を受け入れる仕組みを作り出すことで、来訪者に訴求力の強い浦添を作り出すことに取り組みます。

重点施策② 施設を核とした賑わいの創出

モノレール延長と連動して整備・検討が進む浦添前田駅および拠点施設を核として、当エリアの賑わいづくりに取り組みます。また、現在も多くの人々を受け入れている港川ステイツサイドタウンの更なる賑わいの創出に取り組みます。

周辺エリアの店舗の魅力化や、近接する地域での歴史文化での体験型コンテンツとの連動、誘客のための効果的な情報発信等について検討・推進します。

重点施策③ 来訪者および市民にも訴求する浦添の情報発信の強化

マーケティング調査に基づく、ターゲットの設定とターゲットに対しての効果的な情報発信手法により、来訪者および市民に対しても訴求力を高めていきます。

情報の一元化による来訪者や市民に対してのわかりやすさ、情報アクセスのし易さを高めることや、地域住民や来訪者と共に行う情報発信の仕組みづくりによる鮮度の高い情報発信に取り組みます。そのためのウェブサイトの充実や各種プロモーションでの発信を行います。

重点施策④ 受け入れ施設の整備・充実

観光・交流拠点の充実として、整備が進む西海岸の商業施設、カーミージーの体験施設、市内モノレール駅の観光目線での機能充実を図るとともに、浦添大公園や浦添城跡周辺などの既存施設の効果的かつ柔軟な利活用を推進します。ホテルの誘致等の展開による宿泊機能の充実を進めます。

また、クルーズ船からの誘客に向けて、那覇港管理組合と連携し、将来的にクルーズ船バースの整備に向けた検討を進めます。

重点施策⑤ 官民による観光まちづくり推進体制の構築

浦添市観光協会の法人化や行政内の観光推進体制の充実を図ります。また、観光推進のかじ取り役となる官民連携の体制構築に取り組みます。訪日外国人の受け入れ体制としても、機能の充実を図ります。

市内事業者同士の連携強化により、効果的に観光誘客の推進と地域の魅力向上、経済効果を高めることに取り組みます。

重点施策⑥ マーケティング情報のフィードバックの仕組みづくり

観光マーケティング情報の収集を、行政および事業者の協力のもとで推進します。

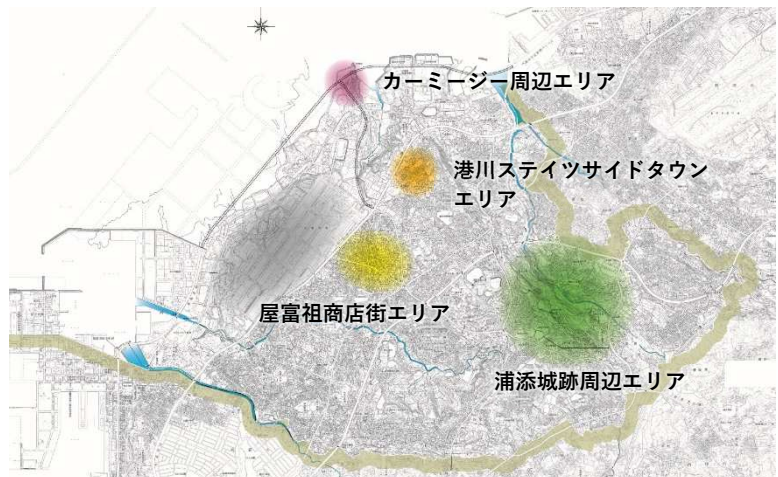
民間事業者が観光推進により効果を得るため、収集した情報の活用を進めます。情報活用により事業者のサービス向上や新事業展開を効果的に実施できる仕組みの構築を図ります。

6. 観光地域づくりを実現していくためのエリア別の方向性

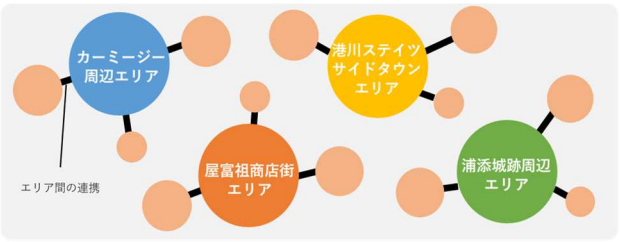
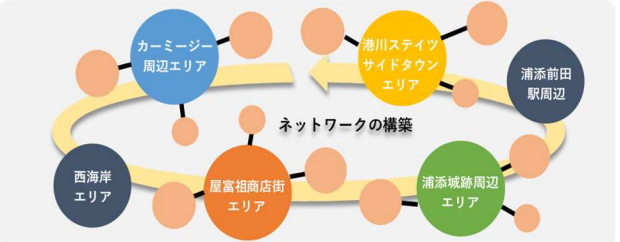
観光地域づくりを実現していくためには、エリアごとの特色・特性に応じ戦略的に観光振興を図ることが重要であると考えます。

エリア別の観光地域づくりの取組は、地域資源の分布や自治会・団体・事業者等の取組状況などがそれぞれ異なるため、段階的に事業化が可能なエリアから順に進めていくことが有効的であると考えます。浦添市では、これまで様々な取組や活動が進められてきたエリア、その他にも現在、事業が進行中であるエリア等があることから、先行的に観光地域づくりを実現するために、重点的に取組を進めるエリアを設定します。

また、そのエリアを核として、周辺部及び他のエリアにおいても、エリアごとの歴史や生活文化、地域資源の活用の現状を踏まえ、重点的に取組を進めるエリアとのつながりを鑑みて、今後、エリア別のワークショップや詳細調査等の開催を経て、観光地域づくりの実現のロードマップを構築していくことが必要となります。



【エリア別の段階的な取組イメージ】

ステップ①	■重点エリアの確立、仕組・体制の確立 重点エリアとして、4つのエリアを定め、魅力あるエリアを確立していきます。そのために、各地区の実情を踏まえた実践的な仕組みや体制を確立し、各施策・プロジェクトを推進していきます。 
ステップ②	■重点エリアを核とした周辺エリアでの展開 確立された4つのエリアを核として、周辺で行われている各種取組や地域資源をつなぎ、もしくは周辺エリアへの取組の展開・波及を行い、「点」を「面」として一体的な拡充を進めていきます。（浦添美術館、てだこ浦西駅、国立劇場おきなわ、サンエーパルコ等との連携） 
ステップ③	■浦添市全域への取組の波及 浦添市全域で様々なプログラムを立ち上げ、面的に多様な滞在コンテンツが確立していきます。また、新たに開発される西海岸地区（キャンプキンザー跡地活用等）との連携を図り、市全域において、面的なネットワークを構築し、浦添市の観光地域づくりによる経済波及効果の促進を目指します。 

7. 施策内容

浦添市における観光振興の将来像と目指す方向性に従い、下記の5つの基本施策を軸に具体的な取組を推進していきます。具体的な取組を推進していくために、ロードマップ（短期：3年間、中期：8年間、長期：8年以上）及び実施主体（行政・関連団体・事業者・市民）を明確に示しています。

行政	関連団体	事業者	市民
浦添市観光振興、関連各課、教育委員会	浦添市観光協会、商工会議所、漁協、文化芸能団体など	宿泊・観光施設・運輸・物販・飲食など	市民および、自治会、市民団体など

◎：主体的に実施する（観光商品・イベントの企画運営、設備・施設の整備、人材育成の仕組み構築・運営など）

○：協力的に実施する（来訪者受け入れ、イベントの人的・資金的協力、設備・施設の協議連携、人材育成実施・参加など）

《施策一覧》

基本方針（1）地域資源である生活・文化・芸能・自然・施設・環境・人を活かす浦添での過ごし方の提案

施策	取組	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	主なエリア
①地域の歴史・文化・芸能の保存・活用	i) 周遊ルート構築、組踊での誘客、文化資源と連動するコンテンツづくり				◎	◎	○		浦添城跡周辺 国立劇場おきなわ
	ii) 浦添城跡・浦添市美術館の観光拠点化				◎	○			浦添城跡周辺 浦添市美術館
	iii) 文化財の保存・活用				◎	◎	○	○	浦添城跡周辺
	iv) 地域活動の観光コンテンツ化				○	◎	○	○	市全域
	v) 国立劇場おきなわとの連携強化				◎	◎			国立劇場おきなわ
②自然環境の保全・活用	i) 里浜のガイドライン作り				◎	◎	○	○	カーミージー周辺
	ii) 自然環境を活用した誘客				◎	○	◎	○	カーミージー周辺
③魅力的な商品（モノ・コト）の活用・造成	i) テーマ性を活かした浦添ならではの滞在コンテンツの造成				◎	○	○		カーミージー周辺 屋富祖商店街 港川ステイツサイド タウン 浦添城跡周辺
	ii) 店舗の魅力化				○	○	◎		屋富祖商店街他
	iii) クルーズ船からの誘客に向けたコンテンツ造成の取組				◎	○	○		市全域
	iv) 雨天時の滞在プログラム構築				○	◎			カーミージー周辺 屋富祖商店街 港川ステイツサイド タウン 浦添城跡周辺
	v) 市産品の開発およびPR（桑製品・うらそえ織等）				◎	○	◎		市全域
	vi) イベントの充実（大規模イベントの集客・安全確保、地域イベント・スイーツ・祭事での観光客受け入れ、他地域イベントとの連携）				◎	◎	◎	◎	市全域
	vii) 修学旅行受入への取り組み（体験型プログラム構築・安全管理推進）				◎	◎	○	○	カーミージー周辺 浦添城跡周辺
④スポーツツーリズム・MICE等の推進	i) スポーツツーリズムの充実（ヤクルトキャンプ見学客の浦添滞在促進、各種スポーツ合宿受け入れ、てだこウォークを活用した誘客推進、ハンドボール王国のPR推進）				◎	◎	○	○	浦添運動公園 ほか
	ii) 魅力ある新たなスポーツイベントの創出				◎	◎	○	○	市全域
	iii) てだこホール等の活用				◎		◎		てだこホール等
	iv) MICE誘致への取組				◎	○	○		市全域
	v) スポーツ環境の整備・充実				◎	◎			市全域
⑤施設を核とした賑わいの創出	i) 観光交流拠点施設（にぎわい交流ゾーン）を核とした周辺施設の賑わいの創出				◎	○	○		浦添城周辺
	ii) 港川ステイツサイドタウンの賑わいの創出				○	○	◎		港川ステイツサイド タウン
⑥個店（中小企業等）の人材の発掘・活用	i) 「まちゼミ」等の取組の推進				○	○	◎	○	市全域

基本方針（２）浦添の情報発信の強化

施策	取組	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	主なエリア
①情報発信方法の確立	i) 情報発信手法の構築（ウェブ・紙媒体等）				◎	○		○	市全域
	ii) うらそえナビの充実・発信力強化				◎	○		○	市全域
	iii) 多言語による情報発信手法構築				◎	○	◎		市全域
	iv) 浦添市ふるさとでこの都市応援寄附金返礼品を活用した浦添市の魅力発信（返礼品の内容（コト・モノ）の充実）				◎	○	○		市全域

基本方針（３）受け入れ環境として、滞在拠点・交流の充実

施策	取組	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	主なエリア
①受け入れ施設の整備・充実	i) 宿泊施設の充実				◎	○	○	○	市全域
	ii) 観光・交流拠点の充実（西海岸地区、市内モノレール駅、カーミー地区海浜公園拠点施設など）				◎	○	○		西海岸地区 市内モノレール新駅 カーミー周辺
	iii) 既存施設の効果的かつ柔軟な利活用（浦添大公園、浦添城跡）				◎	○			浦添城跡周辺 浦添大公園
	iv) クルーズ船バースの整備に向けた事業主体との連携				◎				西海岸地区
②交通・情報インフラの充実	i) 2次交通の充実（市民・観光客が利用できるコミュニティバス、レンタルサイクルなど）				◎		○		カーミー周辺 屋富祖商店街 港川ステイツサイド タウン 浦添城跡周辺
	ii) 西海岸や市内モノレール駅等とあわせた市内交通体系の整理・整備				◎		○		市全域
	iii) 公衆無線LAN整備				◎		◎		カーミー周辺 屋富祖商店街 港川ステイツサイド タウン 浦添城跡周辺
	iv) 案内サインの充実				◎	○	○		市全域
	v) 駐車場の整備・確保に向けた取組				◎	○	◎	◎	市全域
③観光地域としての空間形成	i) まちなみ・景観保全（景観地区検討、自然緑地保全、商店街、四季や時間帯に応じたまちなみ・景観・眺望スポット活用）				◎	○	○	○	市全域
	ii) シンボルロード等のまちづくりとの連携				◎	◎	○	○	シンボルロードの区間～市役所

基本方針（４）浦添観光を支える体制の充実

施策	取組	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	主なエリア
①観光人材の育成	i) 観光推進の担い手発掘・育成				◎	◎	○		市全域
	ii) 観光ガイド育成・技術向上（訪日外国人対応含む）				◎	◎			市全域
	iii) 住民の誇りづくり				◎	○	○	○	市全域
	iv) 子どもたちの郷土愛の醸成（人材育成）				◎	◎	○	○	市全域
②観光まちづくり推進体制の構築	i) 浦添市観光協会の組織強化及び法人化				○	◎			市全域
	ii) かじ取り役となる官民連携の体制構築				◎	○	○		市全域
	iii) 市内事業者間同士の連携強化				○	○	◎		市全域
	iv) 訪日外国人受け入れ体制の構築				◎	○	○	○	市全域
	v) 行政内の体制の連携強化				◎				市全域
	vi) 観光客向けの防災・防犯				◎	○	○	○	市全域
③広域連携の推進	i) 他市町村との連携体制の構築				◎	◎			市全域

基本方針（５）マーケティング・経済波及効果の検証体制の充実

施策	取組	短期	中期	長期	行政	関連団体	事業者	市民	主なエリア
①マーケティング戦略の構築	i) 継続的なマーケティング調査の実施分析				◎	○			市全域
②観光振興による経済波及効果の検証	i) 経済波及効果を生み出す他業種連携推進				○	◎	○		市全域
	ii) 経済波及効果を求めるためのデータ収集				○	◎	○		市全域

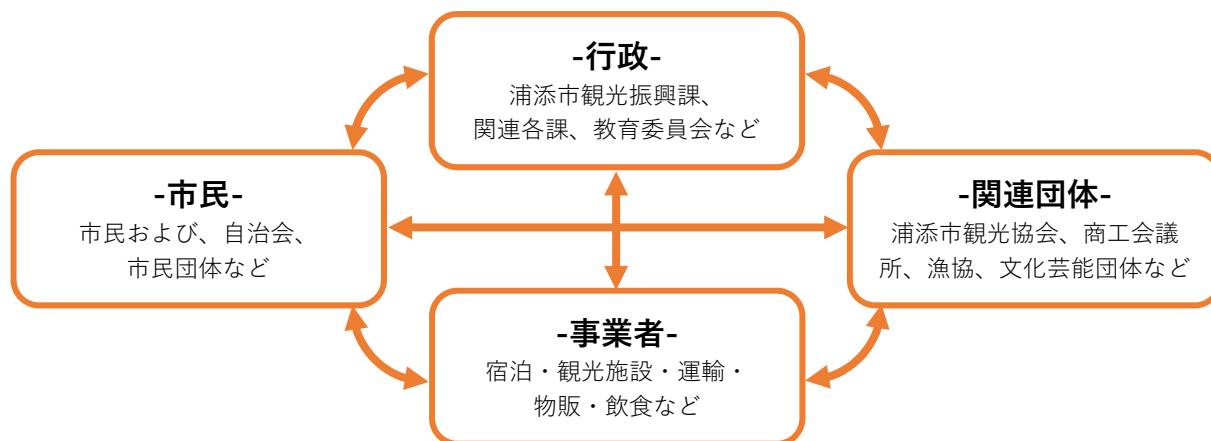
8. 計画の実現に向けて

(1) 推進体制の構築

本計画の推進にあたっては、行政、市民、民間事業者等が浦添市の将来像を共有し、それぞれの役割のもと、連携、協働して取り組みます。

また、他産業や環境、まちづくりなど、他の分野の取組との連携も必要であることから、市民や民間事業者との協働による推進体制を構築し、浦添市の観光地域づくりを実現していきます。

【推進体制構築のイメージ】



主体	役割
行政 (浦添市観光振興課、関連各課、教育委員会など)	・庁内各部局との連携、国や県、関係市町村、関係機関との協議のもとで、取組を推進します。 ・拠点施設の整備や、民間事業者が事業推進を図りやすい環境づくりとして人材育成や新規事業のきっかけづくりを行います。 ・教育委員会においては、文化財等の保全と活用、学校教育との関連での事業推進を支援します。
関連団体 (浦添市観光協会、商工会議所、漁協、文化芸能団体など)	(観光協会) ・観光プログラムの運営や情報発信など事業推進を行うとともに、行政と民間をつなぎ、各分野の産業間をつなぎ調整機能を果たします。 ・観光マーケティングやプロモーションについて、行政との連携の下で推進します。 (商工会議所、漁協、文化芸能団体など) ・民間事業者等が行う事業に対しての支援や、団体自らが事業の担い手となる事業を主体的に推進します。 ・民間と行政とをつなぎ、円滑な事業推進が実現するための役割を担います。
事業者 (宿泊・観光施設・運輸・物販・飲食など)	・観光の主体的な担い手として、事業推進の役割を果たします。 ・関連事業者や行政、市民等との連携・協働のもとで、事業を推進し、観光振興を図るとともに、地域の魅力向上、地域経済の活性化や人材育成に努めます。
市民 (市民および、自治会、市民団体など)	・地域の歴史文化や自然環境等に関する知識と誇りを持ち、訪れる人々を迎え入れます。 ・地域の美化緑化活動や芸能文化の継承、自身の経験や知識を活かした体験受け入れや民泊の受け入れなど、観光まちづくりの担い手として活躍します。

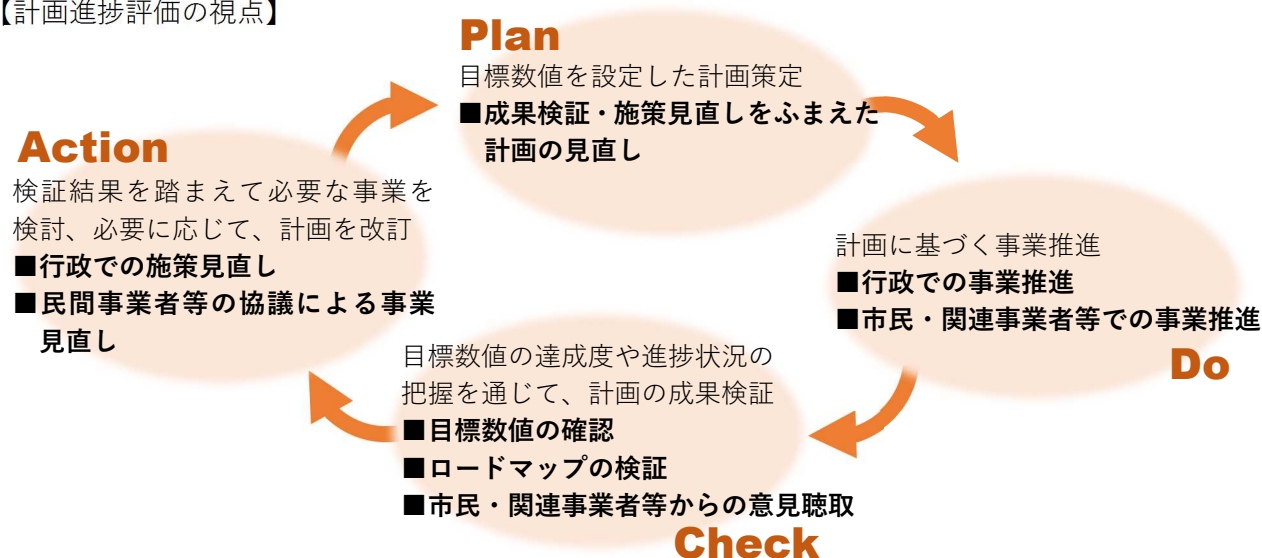
(2) 進捗管理

本計画の将来像を実現するためには、計画に基づく事業推進についての進捗管理を行う必要があります。PDCAサイクルのもとで、計画を実行し、それを進捗評価・改善、そして必要に計画を見直すプロセスを運用していきます。

今後、サンエーパルコ開業やモノレール新駅開業及びその周辺開発、港川地区リゾートホテルの開業等といった様々な内外の情勢や環境が変化する要因があることから、計画期間中であっても必要に応じて計画の見直しを行っていきます。

進捗評価については、本計画の目標数値の達成状況や個別事業の進捗評価だけではなく、市民や民間事業者等からの意見聴取を行うといった各取組の進捗管理を行う組織が必要となります。各取組の進捗状況や目標達成状況等を客観的に評価することができる仕組みを構築し、PDCAサイクルのもと、本計画の進捗評価及び進捗管理を行っていきます。

【計画進捗評価の視点】



【計画進捗管理体制】

本計画の進捗管理については、学識経験者や各種団体、観光産業関連団体、民間有識者等で構成する「浦添市観光振興審議会」において行うこととします。浦添市観光振興審議会は、毎年1回以上開催し、本計画の進捗管理及び評価を行います。

また、計画の中間年次にあたる2020年度には目標指標検証の調査および計画の中間見直しを行い、その後最終前年度である2024年度に目標指標検証の調査、2025年度に計画の見直しを実施します。

《計画進捗管理のスケジュール》

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
前期計画（3年）施策推進			後期計画（5年）施策推進				
		指標検証 調査実施 計画見直し 計画中間				指標検証 調査実施	第2次計画見直し 計画見直し

